

環境活動レポート

発行：平成28年11月1日

1

平成27年度

平成27年8月～平成28年7月

株式会社雄島試作研究所

環境方針

平成 27 年度

基本理念

雄鳥試作研究所は、地球環境に対する環境負荷の軽減を社員全員で認識するための環境教育を行い自然と共生できる施策研究、地球社会の発展に寄与できる製品製作を目指す。

基本方針

- (1) 環境負荷の低減
事業活動に伴い消費するエネルギーの節減に努め、地球温暖化ガス発生量の低減に貢献する。
- (2) 法規制事項の厳守
環境に関する法律、規則等については十分に理解し、実行する。
- (3) 環境教育による社員の環境に対する関心と高揚
会社全体として環境に対する意識を徹底させ環境行動計画書を実行する。
- (4) 地域社会との調和
地域社会の一員として地域社会との調和貢献をはかります。
- (5) 環境に配慮した設計、製品づくり
有害物質材料の削減、製品の軽量化などを念頭にした設計、製品作りを目指します。

平成 27 年 8 月 1 日
株式会社 雄鳥試作研究所
代表取締役 野田 一房



当社の概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 雄島試作研究所
代表取締役 野田 一房

2) 所在地

- 本社工場 東京都武蔵野市西久保3-10-28
 - 本社分室 東京都武蔵野市西久保3-8-15-202
 - 第二工場 神奈川県横須賀市武3-17-1
- : EA21該当事業所

3) 環境保全関係の責任者及び担当連絡先

責任者 代表取締役 野田 一房
担当者 花島 忠義
連絡先 TEL 0422-52-0167
FAX 0422-54-2632

4) 事業内容

精密機器の設計, 試作及び製造販売

5) 事業の規模

*年度 : 8月から翌7月

売上高		3億3,600万円
主要製品生産量	金属製品	377式
	(kg) その他製品	
従業員		27人
床面積	武蔵野工場	452m ²
	横須賀工場	255m ²

1. 主要な環境活動の取組内容と取組結果の評価【環境目標と実績】

目標：平成24年度の実績を基準とした。

H27年度（H27. 8. 1～H28. 7. 31）

目標

(1) 温室効果ガス排出量 二酸化炭素排出係数 0.505kg-CO₂/kWh

(平成26年度東京電力実排出係数、平成26年度より経年通し)

	24年度 H24. 8～H25. 7 (基準)	26年度実績 H26. 8～H27. 7	27年度 H27. 8～H28. 7 (目標)	28年度 H28. 8～H29. 7 (目標)	29年度 H29. 8～H30. 7 (目標)	30年度 H30. 8～H31. 7 (目標)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	59,559.09	58,794.08	59,559.09	59,559.09	59,559.09	59,559.09
化石燃料排出量 (kg-CO ₂)	6001.82	6028.65	6001.82	6001.82	6001.82	6001.82
購入電力 (kWh)	106,054	104,486	106,054	106,054	106,054	106,054
都市ガス消費量 (Nm ³)	373	326	373	373	373	373
ガソリン消費量 (L)	2246.4	2300.6	2246.4	2246.4	2246.4	2246.4

(2) 水資源投入量

	24年度 (基準)	26年度実績	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
総排出量 上水使用量 (m ³)	340	309	340	340	340	340

(3) 廃棄物排出量：一般ごみ

	24年度 (基準)	26年度実績	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
一般廃棄物排出量 (t)	0.702	0.514	0.702	0.702	0.702	0.702
産業廃棄物排出量 (t)	0.368	0.093	0.368	0.368	0.368	0.368

(3) グリーン製品購入の推進 購入品目の60%を維持

	定番品目	26年度実績	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
グリーン製品	60%	トータル24品目	60%	60%	60%	60%

(5) 環境に配慮した設計・製品作り 毎年2件の実施

	24年度 (基準)	26年度実績	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
受注票兼設計計画書で設計検証	0	2件	2件	2件	2件	2件

取組実績

(1) 温室効果ガス排出量

二酸化炭素排出係数 0.505kg-CO₂/kWh

(平成26年度東京電力実排出係数、平成26年度より経年通し)

	24年度 H24.8~H25.7 (基準)	26年度実績 H26.8~H27.7	27年度 H27.8~H28.7 (目標)	27年度 H27.8~H28.7 実績
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	59,559.09	58,794.08	59,559.09	58,758.57
化石燃料排出量(kg-CO ₂)	6001.82	6028.65	6001.82	4851.34
購入電力(kWh)	106,054	104,486	106,054	106,747
都市ガス消費量(Nm ³)	373	326	424	245
ガソリン消費量(L)	2246.4	2300.6	2683.3	1867.1

(2) 水資源投入量

	24年度 (基準)	26年度実績	27年度 (目標)	27年度 実績
総排出量 上水使用量(m ³)	340	309	340	281

(3) 廃棄物排出量: 一般ごみ

	24年度 (基準)	26年度実績	27年度 (目標)	27年度 実績
一般廃棄物排出量(t)	0.702	0.514	0.702	0.554
産業廃棄物排出量(t)	0.368	0.093	0.368	0.001

(4) グリーン製品購入の推進 定番品目展開品番の60%維持

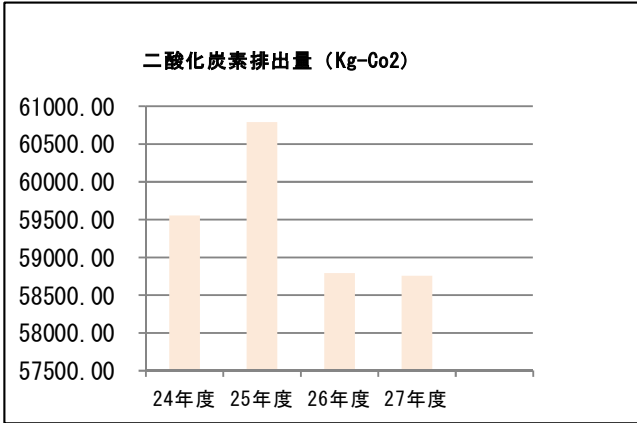
	24年度 (基準)	26年度実績	27年度 (目標)	27年度 実績
グリーン製品	21	トータル24品目	60%	65%

(5) 環境に配慮した設計・製品作り 毎年2件の実施

	24年度 (基準)	26年度実績	27年度 (目標)	27年度 実績
受注票兼設計計画書で設計検証	0	2件	2件	2件

取組実績グラフと評価

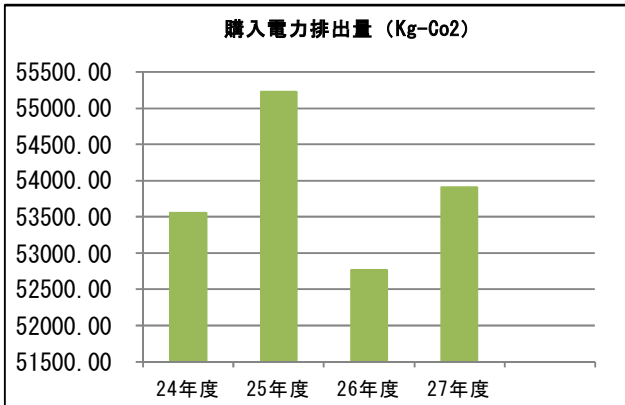
(1) 温室効果ガス排出量



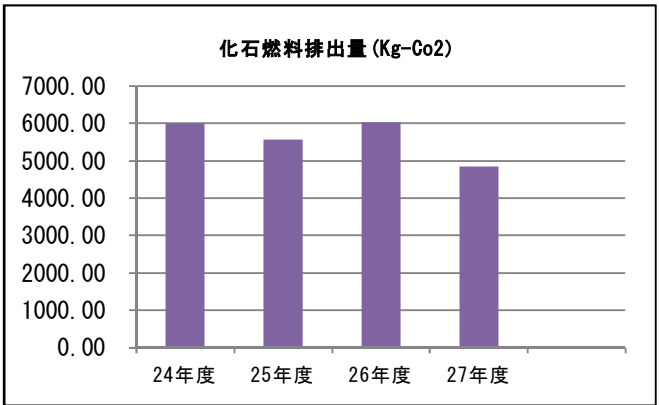
基準年度

今年度より目標基準値を変更して、あらたに取り組みをおこなった。

基準値の設定が低くなったため、総体的に目標値をクリアできた。

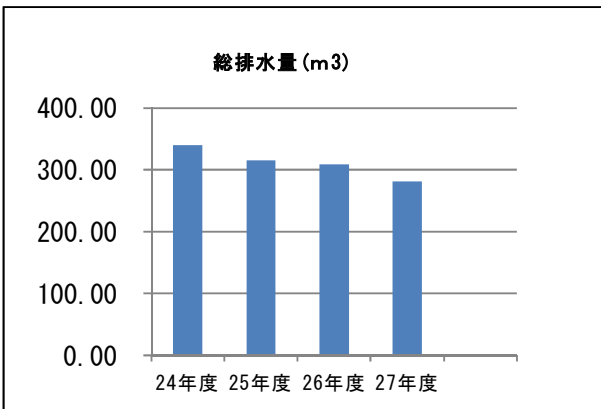


基準年度



基準年度

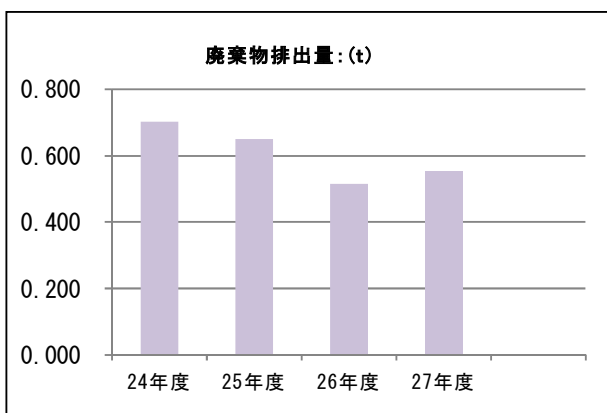
(2) 水資源投入量



基準年度

・目標基準値、係数の修正より温室効果ガス排出量は目標値を達成、化石燃料排出量は残念ながら目標値を下回った。

(3) 廃棄物排出量



基準年度

- ・廃棄物排出量においては目標値を達成した。
- ・グリーン製品の購入についても目標を達成。
- ・受注票兼設計計画書で設計検証を実施した。特に大きな問題点はなかったが、個別に是正処置にて対応した。

(4) グリーン製品購入の推進

	購入製品		グリーン製品		品番数割合
	固定品番数	展開数	品番数	展開数	
H27年度	40	120	26	88	65%

(5) 受注票兼設計計画書で設計検証

- ◆製品に関して下記の点を検証
 - ・特別な法令や規制要求事項: 無し
 - ・引渡し又は引き渡し後の注意事項: 無し
 - ・安全・適正な使用に不可欠な製品特性を含んでいる: 該当無し

27年度目標に対する削減率・および達成率

単位	24年度 (基準)	27年度 (目標)	27年度 (実績)	削減率	達成率	結果
二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	59559.09	59559.09	58758.57	-0.09	101.4%	達成
購入電力排出量 (kg-CO ₂)	53557.27	53557.27	53907.24	-0.13	99.4%	未達
化石燃料排出量 (kg-CO ₂)	6001.82	6001.82	4851.34	0.15	123.7%	達成
総排水量 (m ³)	340.00	340.00	281.00	0.03	121.0%	達成
廃棄物排出量 (t)	0.703	0.703	0.554	-0.07	126.8%	達成
グリーン製品購入の推進 (定品番の60%)	18	60%	65%	-	108.3%	達成

2. 次年度環境目標及び取組内容

H27年度目標

二酸化炭素排出係数 0.505kg-CO₂/kWh

(平成26年度東京電力実排出係数、平成26年度より経年通し)

	24年度 (基準)	(目標)	取組内容
(1)温室効果ガス排出量			
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	59559.09	59559.09	①機械・照明等電源不要時のOFFの推進
化石燃料排出量(kg-CO ₂)	6001.82	6001.82	②空調温度を節電温度に設定
購入電力(kWh)	106054.00	106054.00	③エアコン清掃
都市ガス消費量(Nm ³)	373.00	373.00	④工作機械の設備点検
ガソリン消費量(L)	2,246	2,246	⑤エコドライブ推進
(2)水資源投入量	24年度 (基準)	(目標)	取組内容
総排出量 上水使用量(m ³)	340	340	①日常点検で水漏れのチェック ②蛇口の開閉時の節水
(3)廃棄物排出量:一般ごみ(t/売上高:億円)			
一般廃棄物排出量 (t)	0.702	0.702	①ゴミの分別回収の徹底
産業廃棄物排出量 (t)	0.368	0.368	②廃棄物の再生利用 ③カタログの回収
(4)グリーン製品購入の推進 購入品目の60%を維持			
グリーン製品	定番品目	60%	①梱包・原材料の簡素化 ②グリーン購入品の選定
(5)環境に配慮した設計・製品作り 毎年2件の実施			
受注票兼設計計画書で設計検証		トータル2件	①受注票兼設計計画書で設計検証をする ②問題点が発生した場合予防・是正を検証する

3. 環境関連法規等への違反，訴訟等の有無

環境関連法規性等の遵守状況を確認したが違反はなく、また関係当局からの違反の指摘や訴訟は過去3年間ありません。

4. 教育訓練の実施

【防火訓練の実施】

社内にて防火訓練を実施した。<武蔵野本社 実施日：6月17日>
<横須賀工場 実施日：6月17日>



- * 緊急事態の社内マニュアルに基づき実施
- * 消火器の設置場所、使用方法の確認

5. 地域社会との調和

【会社・工場周辺の清掃活動】

地域奉仕活動として、会社・工場周辺の道路のゴミや雑草を除去した。

＜武蔵野本社 8名 実施日：6月17日＞

＜横須賀工場 4名 実施日：6月17日＞



6. 経営者による全体の評価と見直し

目標値を平成24年度の実績に変更。また、売上ベースではなく、実績値にしたことで、目標値がより具体的になったことから、前年度と比較ができる部分もでてきたため、更なる努力をしていくこととする。

また、売上が減少しているのに数字的には悪くなっているが、実績からみると実質的には増加していないと思われるので、現目標及び対処法で次年度も引き続きすすめていきたい。